

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 宇城市立不知火中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒869-0562  
熊本県宇城市立不知火町長崎45番地

E-mail siranuhityu-d@tsubaki.higo.jp

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 103名 女子 110名 合計 213名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### 1 平和・人権について

##### (1) 戦争と平和

3年生は総合的な学習の時間に戦争と平和についての学習を行った。戦後70周年ということもあり、新聞やニュースなどでも戦争や戦後について取り上げていることもあって今年だからこそ戦争と平和について考えていくべきだと取り組んだ。

##### (ア) 劇

学年67名中50名が、「命(ぬち)どう宝」という題の劇に取り組んだ。それは沖縄地上戦を舞台にした内容で、歴史や事実を確認しながら作り上げて行った。キャストの台詞はもちろん、場面も家や学校、野戦病院、ガマなどその当時の沖縄の住民が戦争に巻き込まれていった様子がわかるような流れを取るようにした。また、ナレーションで戦況を入れ込んだり、写真をスライドで流したりして観ている人にその当時のことがより伝わるように工夫した。その劇は文化発表会で発表し、50分にわたる内容になった。劇終了後、「戦争は絶対にしてはいけないと改めて思った」「沖縄の人たちの痛みがわかった」「涙が出て止まらなかった」などの感想があり、観ている人たちに伝ったと感じた。



スライドの1枚



劇の一場面

その後も生徒たちは戦争に関するニュースや文献に目を向けるようになった。

##### (イ) 壁新聞

壁新聞で戦後70周年の今自分たちが考えることや自分の家族や地域の方々からも話を聞いたり、アンケートを採ったりしてまとめた。何度も原稿を推敲し、より伝わりやすくなるように工夫していた。その作品は熊本日日新聞壁新聞コンクールで最優秀賞を受賞した。



壁新聞

##### (2) 人権学習

1年生はハンセン病について、2年生は水俣病についての学習を行った。ハンセン病についてあまり知らない生徒もいるので、1年生で学習した。水俣病については小学校の時から学習に取り組んできた。さらに、障がい者差別についての学習を深め、自分の生き方や身の回りの差別に向かう力を培った。

#### 2 防災について

1年生の総合的な学習の時間のテーマは、「地域を見つめ知り、自分の生き方を切り拓く」である。不知火町は1999年(平成11年)9月24日早朝、台風18号の影響を受け高潮におそわれた。家屋の水没で12名の尊い命が犠牲になった。水位は+6.7mと推測され平屋家屋の屋根裏の高さにまで達していた。その後「二度と被災しないための復興」を目標に宇城市の取組がなされている。生徒たちも自分たちが過去の災害と共に、防災について学ぶことを通して、地域の安全・安心について考える機会とした。

(1) 計画

総合的な学習の時間を中心に学習するとともに各教科・各領域と関連させて取り組んできた（図1参照）。

夏休みに班ごとに自分たちが調べる地域の危ないところや災害への対策をどのようにしているか、実際にその地域をまわって調べていた。



危険箇所の写真

過程	時間	月日	おもしろ言語活動と体験活動	講義型	体験型	参所・特・情報等	各教科・領域等との関連
課題設定	1	4/27	総合学習の意義と内容の説明とアンケート	○	○	教室	社会(個人と社会生活)
	2	5/16	どんな災害があるかを考える	○	○	教室	理科(大地の変化)
	3	5/23	災害のこころを知る	○	○	教室	理科(大地の変化)
	4	5/25	スキル学習 PCルームの使い方を学ぶ	○	○	教室	社会(個人と社会生活)
	5	6/1	スキル学習 課題設定の仕方・調査方法	○	○	図書室	国語(情報の編集)
	6	6/11	採集(課題ごとの道幅を調べる)	○	○	図書室	国語(話し合ってみよう)
	7	6/8	スキル学習 活動計画のつくり方 レイアウト	○	○	図書室	社会(身近な地域の調査)
	8	6/8	スキル学習 図書室の使い方 文献調査	○	○	図書室、新聞	国語(情報の編集)
	9	6/15	地域の仕事・環境等、特徴を調べる	○	○	地域	国語(情報の編集)
	10	6/15	地域の仕事・環境等、特徴を調べる	○	○	地域	国語(情報の編集)
	11	6/22	スキル学習 インターネットを使った調査	○	○	パソコン	国語(情報の編集)
情報収集	12	6/22		○	○		
	13	6/29		○	○		
	14	6/29	過去の災害について調べ、災害にあったときどのように対応すればよいか、また、災害にあわないようにするためにどうすればよいかを調べる。	○	○	図書室、パソコン	国語(情報の編集) 社会(個人と社会生活) 保健(集団行動) 道徳(礼儀・思いやり・協力)
	15	7/6		○	○		
	16	7/6		○	○		
	17	7/13		○	○		
	18	7/13		○	○		
	19	9/7	必要な資料や情報を収集し、今まで調べたことを整理し、まとめる。	○	○	教室	英語(プレゼンテーション能力の育成)
まとめ発表	21	9/14	学習を振り返り、反省と学んだことを整理する	○	○	教室	英語(プレゼンテーション能力の育成)
	22	9/14		○	○		
	23	9/28	文化発表会の取り組み	○	○	教室	国語(話し合ってみよう)
	24	9/28		○	○		
課題設定	25	10/5	採集(課題ごとの道幅を調べる)	○	○	教室	国語(話し合ってみよう)
	26	10/5	テーマ、活動計画、役割分担を考える。	○	○	教室	国語(話し合ってみよう)
	27	10/19	活動計画に基づいて、校内で調査活動をする	○	○	図書室	社会(身近な地域の調査)
	28	10/19		○	○		
情報収集	29	11/8	仕事見学に出かけ、調査活動をする。	○	○	見学地	社会(身近な地域の調査)
	30	11/8		○	○		
課題設定	31	11/16	調べたことをまとめる	○	○	教室	国語(話し合ってみよう)
	32	11/16		○	○		
	33	11/20	調べたことを推敲する	○	○	図書室	国語(情報の編集)
	34	11/20		○	○	パソコン	国語(情報の編集)
まとめ発表	35	12/7	調べたことをレイアウトする	○	○	教室	国語(情報の編集)
	36	12/7		○	○		
	37	12/14		○	○		
	38	12/14		○	○		
分析	39	1/18		○	○		
	40	1/18		○	○		
	41	1/25	記事を紙面にまとめる。(新聞形式)	○	○	図書室、パソコン	国語(レポートの書き方) 社会(身近な地域の調査)
	42	1/25		○	○	新聞	美術(デザイン)
	43	2/1		○	○		
	44	2/1		○	○		
まとめ発表	45	2/8	学年の発表会のリハーサル	○	○	教室、パソコン	英語(プレゼンテーション能力の育成)
	46	2/8	発表内容を修正し、紙で練習する	○	○	教室、パソコン	英語(プレゼンテーション能力の育成)
	47	2/15	発表会(保護者・地域の方)	○	○	パソコン	英語(プレゼンテーション能力の育成)
	48	2/15	資料は校内に掲示する	○	○	プロジェクト	英語(プレゼンテーション能力の育成)
	49	2/22	今までの学習を振り返り、反省と学んだことを整理する。	○	○	教室	国語(話し合ってみよう)
50	2/22		○	○			

図1：計画案

(2) 地域との連携

宇城市危機管理課の方2名に来ていただき、災害マップ作成の際のポイントを教えてください。その後、指導を受けながら不知火の各地区の地図に記録をしていった。その活動は熊本県内で放送されるTVでも紹介された。

また、授業参観の時に保護者の方にも自分が住む地区の班に入っていたいただき、一緒に制作したり、アドバイスをいただいたりして取り組むことができた。



防災マップ作成

(3) 文化発表会

自分たちが班ごとに調べた各地区の防災マップを作成し、文化発表会でポスターセッションを行った。地域の地形の特徴やどんな災害が起こりやすいのかも発表し、避難経路の紹介もすることができた。聞いてくださった方から感想や気付き、質問等を付箋に記入してもらい、その後の活動に生かすことができた。



地区ごとの紹介



ポスターセッション中



感想等記入

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（文化発表会）